

# リモートマイク+<sup>プラス</sup>

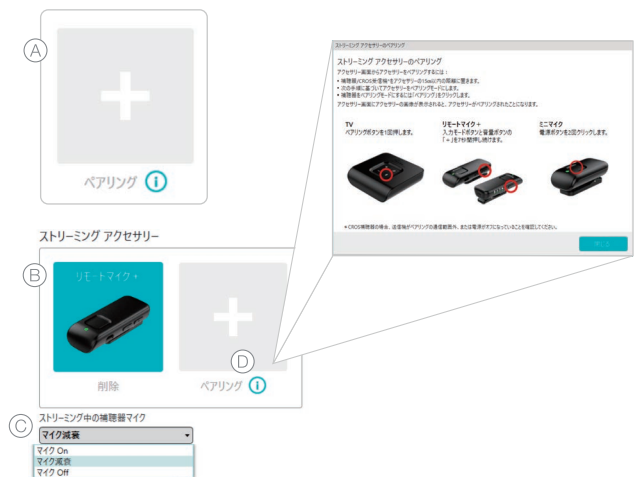


## ペアリング

リモートマイク+をLivio AIやLivio補聴器と一緒に使うためには、ペアリングが必要です。ペアリングを一度行くと、それ以降は自動的に補聴器とリモートマイク+がお互いを認識します。リモートマイク+のペアリングはInspire上でも、またInspireを使用しなくても実行可能です。Livio AIとLivio補聴器は、最大5台のアクセサリと直接ペアリングを行えますが、同時にストリーミングを行えるのは1台です。リモートマイク+は、最大で8台のBluetooth機器とペアリングすることができます。

### Inspire 上でのペアリング

- 1 Inspireを立ち上げ、補聴器を接続します。
- 2 左側のナビゲーションバーから「アクセサリ」を選択します。
- 3 リモートマイク+の電源が入っていることを確認します。
- 4 補聴器をリモートマイク+から15cm以内の位置に置きます。
- 5 電源ボタンと音量アップボタンを同時に押して、補聴器をペアリングモードにします。表示ランプが交互に青色と赤色に点滅すれば選択完了です。
- 6 「ペアリング」を選択し、補聴器をペアリングモードにします。 (A)
- 7 アクセサリ画面にリモートマイク+が表示されれば、ペアリング成功です。 (B)
- 8 ストリーミングアクセサリの画像の下にある「ストリーミング中の補聴器マイク」のドロップダウンメニューから設定を行います。マイク音量の50%減衰がデフォルト設定です。 (C)
- 9 ペアリング手順については、必要に応じて情報アイコン (i) を参照してください。 (D)



## ペアリング (続き)

### 補聴器と直接ペアリング

- 1 過去に補聴器とペアリングを行ったすべての携帯端末、その他のアクセサリの電源を切ります。
- 2 リモートマイク+の電源が入っていることを確認します。
- 3 補聴器の電源を一旦切って、再び入れ直します。
- 4 補聴器をリモートマイク+から15cm以内の位置に置きます。
- 5 表示ランプが交互に青色と赤色に点滅するまで、入力モードボタンと音量アップ(+ )ボタンを同時に7秒ほど押し続けます。
- 6 緑色の表示ランプが点滅したら、ペアリングは成功です。



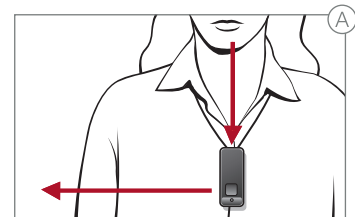
### リモートマイク+とBluetooth機器とのペアリング

- 1 リモートマイク+の電源が入っていることを確認します。
- 2 入力モードボタンと音量ダウンボタンを7秒間、同時に押し、表示ランプが青色の速い点滅になったことを確認します。
- 3 Bluetooth機器をペアリングモードにします。
- 4 リモートマイク+が表示されたら、Bluetooth機器上で選択します。
- 5 リモートマイク+の表示ランプが緑色で2秒ほど点灯したら、ペアリング成功です。



## 使用方法

- リモートマイク+の電源をオン/オフするには、マルチボタンを2秒ほど押します。
- リモートマイク+は衣服にクリップで留めるか、ネックストラップを通して首にかけて使用します。
- リモートマイク+の通信範囲は約10mです。ストリーミング中に通信範囲の外に移動すると、ストリーミングは中断され、再開するには手動で行う必要があります。
- リモートマイク+はフル充電の状態ですら最大10時間のストリーミングを行えます。
- リモートマイク+は3時間以内でフル充電できます。
- リモートマイク+の電池残量が少なくなると、表示ランプが赤色に点滅し、補聴器が5分おきにお知らせ音を鳴らします。
- リモートマイク+を落下させると一時的にミュートになり、安定すると復帰します。
- ストリーミングの開始/停止の機能、ストリーミング音量の調節は、リモートマイク+、補聴器の操作ボタン、Thriveリモコン、またはThriveアプリでも行うことができます。
- リモートマイク+またはBluetooth機器が電話の音声ストリーミングの音源であるときは、リモートマイク+は話者の口元から20cm以内にあるようにしてください。リモートマイク+の向きは垂直方向の時に最も良い性能が得られます。(A)



## 入力モード

- 1 入力モードボタンを押すと次の利用可能な音源に移動します。FMシステムとライン入力は、機器がリモートマイク+に物理的に接続されている時だけ選択可能です。
- 2 入力モードの表示ランプが消灯している時は、入力モードボタンを押すと一時的に点灯させることができます。
- 3 リモートマイク+の電源を切ると、最後に使われた入力モードが記憶され、再び電源を入れた時に、その入力モードになります。

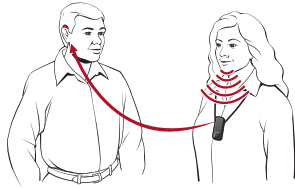


### 音源別使用方法

#### 🎧 リモートマイク機能：

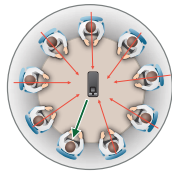
リモートマイク+は物理的な位置に応じてマイクの設定を自動的に最適化します。机の上に置かれた場合には周囲の音を全方向で等しく（無指向性で）

処理します。一方、首に掛けている時には上方からの話者の声を優先し、その他の方向からの音を抑制します（指向性）。



リモートマイク機能の使い方：

- 電源がオンで入力モードがマイクになっていることを確認します。
- 補聴器へのストリーミングが自動的に開始されます。



#### 📶 通話ストリーミング

- リモートマイク+の電源が入っていて、表示ランプが青色であることを確認します。
- 電話は他の入力モードの途中でも割り込むことができるので、入力モードの状態は影響ありません。
- 電話を受けるには、マルチボタンを押します。
- 電話を掛ける時はスマートフォンで普通にダイヤルします。音声ストリーミングは自動的に開始されます。



- 通話を終了するにはマルチボタンを押します。
- 通話が終了すると自動的に通話前の入力モードに戻ります。
- 掛かってきた電話を取らない時はマルチボタンを2秒間以上押し続けます。
- 通話をするストリーミングが中断され、通話が終了しても中断したままです。ストリーミングを再開する時は手動で行います。

#### 📶 その他のストリーミング

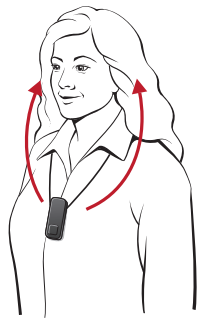
- リモートマイク+の電源がオンで、表示ランプが青色であることを確認します。
- 入力モードをBluetoothにします。
- Bluetooth機器の音楽その他のオーディオプログラムを開始します。補聴器へのストリーミングが自動的に開始されます。



## 入力モード（続き）

### ① 磁気（誘導）ループシステム：

- リモートマイク+は磁気ループシステムからの音声を受信することができます。リモートマイク+を垂直方向に装着すると、最適な性能が得られます。

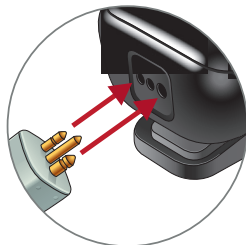


磁気ループのストリーミング方法：

- リモートマイク+の電源がオンで、入力モードが磁気ループになっていることを確認します。
- 補聴器へのストリーミングは自動的に開始されます。

### ② FM（補聴）システム：

- ユーロプラグにFM受信機を取り付けます。
- リモートマイク+の電源がオンで、入力モードがFMシステムになっていることを確認します。
- 補聴器へのストリーミングは自動的に開始されます。

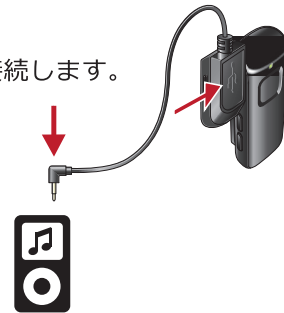


### ③ ライン入力：

マイクロUSBジャックを経由してオーディオ入力ケーブル（別売りオプション）を接続すると、リモートマイク+はBluetooth以外の携帯電話やMP3プレイヤー、タブレットやコンピューターからの音声や音楽を入力することができます。

ライン入力のストリーミング方法：

- オーディオ入力ケーブルをマイクロUSBジャックに接続します。
- リモートマイク+の電源がオンで、入力モードがライン入力になっていることを確認します。
- 電子機器で、音声や音楽を開始します。補聴器へのストリーミングが自動的に開始されます。



\*Accessories only pair to hearing aid (not to iPhone/app).

For Livio AI, Livio, Thrive and iOS/Android compatibility information, please visit [starkey.com/thrive-hearing](http://starkey.com/thrive-hearing).

Apple, the Apple logo, iPhone, iPod touch, App Store and Siri are trademarks of Apple, Inc., registered in the U.S. and other countries.

Google Play and Android are trademarks of Google Inc.

© 2019 Starkey Japan. All Rights Reserved.